

社会福祉法人 あいのわ福祉会

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
電話 03(3849)1188
FAX 03(3849)7001
- 印刷足立区大谷田就労支援センター
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行



平成22年度社会福祉法人あいのわ福祉会後援会総会開催

日時：平成22年6月8日 10時30分より
場所：足立あかしあ園3階会議室

内容：総会

- 第1号議案 平成21年度事業報告について
- 第2号議案 平成21年度決算報告について
- 第3号議案 平成21年度監査報告について
- 第4号議案 平成22年度役員(案)について
- 第5号議案 平成22年度事業計画(案)について
- 第6号議案 平成22年度予算(案)について

感謝状贈呈式、講演会

講演会「足立のくらしー江戸時代から現代まで」

22年度・後援会総会終了後、足立区郷土博物館・学芸員の萩原ちとせ氏による講演がありました。

私たちが暮らしている、また各施設がお世話になっている地域の

昔はどんな所だったのか、知っているようで意外とわからない事も多くありましたので楽しみに拝聴し

ました。

最近のテレビや出版物では、下町ブームや幕末ブームとも言えそうですが、そこにつながる江戸時代、東郊の農村地帯であつたここ足立を、4代将軍・徳川家綱が「御前裁畑」としたそうです。御前裁畑とは、江戸城・将軍家に献上する(前裁とは野菜)野菜をつくる畑だそうです。

幕府から種を渡され栽培されたものには、夏牛蒡・夏大根・なす・真桑瓜・西瓜・等々。また地名の付いた野菜も数々、西新井大葵・本木なす・栗原山東菜・千住ねぎ・金町小かぶ等、現在もお馴染みの多種類の野菜が栽培されていたようです。

これらの野菜とともに、主食である稲作も盛んで、これも内匠新田(南花畑あたり)や保木間村二ツ家(青井3・4丁目辺)などの新田開発が進められていたからのお話でした。

また、稲作には水が不可欠で、その対策として用水路が発達し、お米や野菜の運搬にも大活躍していたようです。そして農業に欠かせない肥料は、江戸の都心から下肥を運び活用していました。70〜80歳の地主さんで昔農家だった方は、「私の若い時は、千住の橋を下肥を乗せてよく荷車を曳いて超えたものです。」とお話を聞いた事がありました。

寛永2年に千住宿が建設され、4宿の中で最大の規模だったようですが、現在も残る千住のやっちゃばと共に活気があつたようです。

時が移り農村だった足立も市街地へ、流通の発達とともにその役目は東京近県、いや全国に広がりましたが、今も農村の名残はそこかしこに。

郷土博物館や都市農業公園には、様々な資料や展示がされています。時には散歩がてらに覗いてみてはいかがでしょうか。



足立あかしあ園だより

梅雨が明け猛暑の時期となりましたが、足立あかしあ園では今年度から4つに分かれたグループの皆さんがそれぞれ元気に、作業や活動に張り切っています。

天気の心配な時期ですが、6月17日、18日にはCグループが今年度最初の旅行ということで千葉方面へ宿泊に出かけました。少人数での旅行でゆったりとフェリーに乗ったり、海の幸に舌鼓を打って満足で元気に帰ってきましたよ。

また、6月25日には「昼食バイキング」をたくさんさんのボランティアさんのご協力もあって楽しく行いました。今回のテーマは「ハイキング」ということで、サンドイッチから揚げやハンバーグなど、気持ちのいい野山で食べたい物がたくさん並んでいましたが、このところみんなの定番になりました。この「もつ煮込み」も並んでいるのには思わず大笑い……。たくさん食べてみんなのお腹はブククリしたかなー？

昨年度は改修工事のために行えなかったお祭り（ふれあいフェスティバル）が、今年はより盛大に9月に行われます。いよいよ準備も本格的になってきました。どんな催しにするのかなど、園内のあちこちで話し合いがもた

れています。新しくなった建物も含め、今からご期待ください。（塩田）

綾瀬あかしあ園だより

今年度がスタートして早4カ月が経とうとしています。「地域生活相談の充実」を重点課題として取り組んでいます。自分たちの勉強不足を日々、痛感させられている毎日です。書面だけでは分からない、知られていない事も多く、そのつど福祉事務所や関係部署に連絡をとり、足を運んだりして、やっと理解できる事も多いです。



現在は、毎月1回は、施設見学を取り入れ、保護者の皆様に少しでも参考にしてもらえたらという思いで、報告させてもらっています。こんな情報を知りたい、施設を見てみたいなどありましたら、ご遠慮なく声をかけてください。

地域生活に関して、勉強しながら1つ感じたことがあります。



色々な施設を見学すればする

ほど、現状の既存の施設だけでは、利用できない場合や利用者さんがたくさんいます。利用者さんとご家族が、その人らしく、安心して暮らせる場所はやはり今の家の中ではないかと思うようになりました。



今あるサービスを駆使して、他職種の方と連携を取りながら、「その人らしい生き方」の支援、本当の意味での地域生活相談支援ができればと思います。（森）

竹の塚あかしあの杜きずな（生活介護入所）だより

第3回目の「杜祭」が、6月13日に開催となりました。数日前から梅雨入りのニュースで、当日の天候をみんなが心配しましたが、みんなの祈りが届いたのか、途中太陽も顔を出し、汗ばむような天気にも恵まれました。

ボランティアの方々、ご来客、地域の方々も多く来てくださり、盛大な開会式がはじまりました。

今年の「杜祭」は主に、のぞみ・きずな共同のコーポバンド、各サークル紹介などのプログラムを行ないました。

コーポバンド「スカイハイ」は、2ヶ月前から練習を重ねてきました。当日は午前・午後と2部に分かれて行ない、はじめての企画で心配もありましたが、本番ではみんなが1つになり、とても楽しいものになりました。

サークル紹介は、メンバー全員が力を合わせて、当日に発表したいものを企画し、懸命にそのための準備をしてきました。

父母の会や他施設による模擬店も早々と売り切れ、きずなの作業で作った製品も売れ行きがとてもよかったです。

韓国マツサージ・フェイスペインティングなどにも大勢の方が並んでいました。

「杜祭」は参加していただいた方々と利用者・職員の心と心を繋ぎ、大盛況で幕を閉じました。

年々周囲の方々の協力も増え、地域との交流の場として、一層進んでいくように、今回の経験も活かしていきたいと思っています。

来年もまたご期待ください。（朴）

竹の塚あかしあの杜のぞみ（生活介護通所）だより

6月13日に第3回の施設祭を開催しました。

施設祭に向け、利用者も職員も急ピ

ツチで準備を進め、なんとか当日にこぎつけたなあという気持ちです。

のぞみの出し物は『音楽クラブのステージ発表』と『自主生産品の販売』でした。



自主生産品は『ボンボン』

『ミサンガ』『陶芸皿』などで、たくさんの方に購入いただきました。

皆さん、事前に店番の練習をした成果か、ぎこちないながらも一生懸命に売り込みをしていたと思います。

店番前は

「緊張する。お客さんになんて声をかけたらいいのかわからない！」

と言っていました。店番終了後は、

「緊張した。でも、いらっしやいませって言えたよ」と満足そうな表情。

知らない人に声をかけるのは誰でも緊張するものですが、きつと自信につながったはず。

自分たちが一生懸命つくった作品を、自分たちの手で売る。大きな喜びでしょう。また、販売を通して、家族や職員以外の人たちと触れ合う機会は、きつと1人ひとりに何かしらの気持ちを起こさせてくれるのではないで

しょうか。

(細野)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

大谷田就労支援センター軽作業・自転車事業

室では、6月より自転車の洗いを囲い、エアコン完備で自転車清掃ができるようになりまし

た。

今まで、夏は

炎天下で汗を流したたらせながら、冬は寒風の吹きさぶ中寒さで手足が痛くなる自転車清掃を行っていました。

利用者の方には大変な思いをしながらの自転車清掃をお願いしていました。

が、これからは空調のきいた部屋で清掃作業ができることになってほっとしています。

洗い場の天井には日差し防止の為にだれを付けました。海の家みたいにな



ってしまいましたが、夏に向けて雰囲気が出ています。

(染谷)

神明福祉園だより

今年度も、6月3日に佐野センターにて家族との交流や地域との交流の行事として、ファミリーレクリエーションを行いました。赤組、白組に分かれて、応援合戦、パン食い競争、玉入れ、只今建設中のスカイツリーにちなみでの競技、地域の方による盆踊り、みんなでのマイム・マイムのダンス、最後は班別対抗リレーを行いました。

利用者の方以上に張り切って競技に参加して頂いた保護者の方や、応援合戦でセーラー服を着て頑張ってくれた利用者の方など、家族の方と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

利用者の方の年齢が上がると共に家族の方の参加も少なくなってきたのは、今後の行事のあり方を考える課題でもあります。



が、家族と利用者と一緒にひとつの事に汗を流して行えるのは、ファミリーレクリエーションの本当に良い所だと思います。

当日は、神明南町会の女性部、N A・K A・M A、いつもお世話になっているボランティアの方々のご協力があり、無事にみんなが笑顔でファミリーレクリエーションを終える事ができました。本当にありがとうございました。

ちなみに、今年のファミリーレクリエーションは白組の優勝でした。

(永池)



神明デイサービスセンター だより

サッカーワールドカップの熱気もさめやらぬ今日この頃ですが、夏本番を迎えるにあたって皆さん体調は万全ですか？

神明デイサービスは、前号でもお知らせしたように、本年度の新たな試みとして各曜日で外出を計画しました。今回は水曜メンバーで「亀有アリオ」へランチ外出に出かけてみました。

フードコートで思い思いの昼食を

堪能した後に、各グループに別れてアリオ内を散策したのですが、ゲームパークでは職員の方が熱くなる場面もあり…。(苦笑)

次回はどんな外出になるのやら? 乞うご期待です。

6 月には恒例のハート&ハートで、音楽講習会「リハビリターズ」の発表もありました。



大きな歌声と合奏の他、アンコールでは職員との「南中ソーラン」のコーラボで盛り上がりました。メンバーも増えたので、次は EWF の発表に向け、これからの練習にも新しいものを取り入れつつ楽しんでゆけたらと思っています。

また 6 月は菖蒲の季節! 毎年しょうぶ沼公園へ散策外出に出かけていますが、今年は花も大ぶりで見てたえがありました。曜日によってはとても暑い中での外出となりました。梅雨の中の束の間の晴れ間を短い時間でしたが満

喫できました。

あとお知らせですが、神明障がい福祉施設の 1 階のショーケースには福祉作業所や福祉園の販売品の他に、デイサービスの利用者さんが講習会や自主活動で製作された作品が展示してあります。いずれも力作ぞろいので、定期的に変えていますので、施設にお寄りの節はぜひご覧ください。

これからも暑い日が続きますが、利用者さん・職員ともども体調に十分配慮しつつ、元気に乗り切っていきたいと思っています。(倉成)



神明福祉作業所だより

暑い日が続きますが本格的な夏の始まりを楽しみにしています。

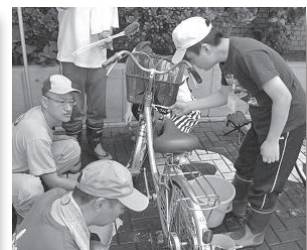
神明福祉作業所では、6 月 6 日(日)佐野センターで行われた「ハート&ハート」に参加しました。当日は、天候にも恵まれ沢山の人が会場は大盛況でした。

今回は、4 つのお店を出店しました。自転車清掃では、20 台の自転車を額に汗しながら丁寧に磨きあげました。革体験では、お客様に好きな絵柄

を選んでプレスレットや財布に刻印する体験をしてもらいました。自主販売では、定期入

れが好評で新商品のデザインパスケースなど売れ切れ品が続出した。喫茶店では、初めての試みとして、

他の施設の美味しいケーキと神明のコーヒートとコラボレーションをセットで販売させて頂きました。どのお店も利用者や職員、ボランティアの皆さんと協力しあいました。



今後の神明福祉作業所では、楽しい行事が予定されています。かりんグループでは、西新井アリオ映画・越谷レイクタウン買物外出があります。あおぞらグループでも「見る・遊ぶ・見学・買物」に分かれ利用者それぞれが計画を立てています。

9 月 2・3 日には、八景島シーパ

ラダイスや、千葉鴨川方面、マザー牧場でのジャム・バター体験など宿泊旅行を予定しています。

(河瀬)

グループホームオハナだより

梅雨に入り、天候不順の日が続いていますが、オハナのみんなは、元気に過ごしております。

6 月 26 日、27 日とオハナの 7 人の仲間箱根旅行に行ってきました。

旅行の 1 週間前はみんな楽しみで興奮している人も多く、夜はなかなか眠れなかったり、みんなが集まる夕食の時間は旅行の話で盛り上がりつつありました。

当日の 26 日は天気にも恵まれ全員で富士屋ホテルで美味しいランチを食べながら、6 月生まれのお誕生日会をしました。(石毛さん・鈴木裕美さん)

大きなケーキでハッピーバースデーの歌をみんなで歌っていると、食事に來ていたお客さんも一緒に歌ってお祝いしてもらい、思い出に残るお誕生日会となっています。

27 日は海賊船と彫刻の森グループに分かれましたが、あいにくの天気では



賊船は見合わせとなつてしまい、全員で彫刻の森に行き美味しいランチを食べながら、ゆっくりと過ごしました。

充実した2日間!!みんなが笑顔で楽しそうに過ごしている姿を見ると、本当に嬉しく思います。

帰りのロマンスカーでは今回は海賊船に乗れなかったのだから来年はリベンジしよう!と楽しかった旅行を振り返っていました。

また来年も7人の仲間で行けるように、素敵な旅行を計画していきたいと思っています。

まだまだ蒸し暑い日が続きます。体調を崩さないように気を付けながら、今月も楽しく過ごしていきたいと思います。

(永山)



あいのわ支援センターだより

6月1日に第1回の谷中グループホームの説明会を神明障害福祉施設にて行いました。当日は、70名を超える方が参加されました。

第1回の説明会にご参加が出来ない方もいらつしやつたので、6月15日に足立あかしあ園にて第2回目の説明会を行いました。こちらも約20名近くの方が参加されました。参加された理由は、今すぐに入居を希望されている方、将来的に入居を考えている方、参考として聞かれている方など様々でした。また、参加された方も入居を予定されているご本人様を始め、ご家族の方、職員の方など多くの方のご参加がありました。

説明会ではグループホームの概要を初め、募集要項やショートステイ、入浴サービスなどあいのわ支援センター谷中で立ち上げる事業についての説明もありました。

説明会終了後から、入居募集が開始され、日々入居を希望される方の申込み書が届いています。7月16日に第1回選考会議が実施され、ここで応募者の総数が明らかになります。現時点での応募者は入居予定の12名を超えている為、大変難しい選考になると思われる。8月の中旬の入居者決定に向けて

て選考委員は苦渋の決断に迫られる毎日を送る事になると思われます。

あいのわ支援センター谷中の工事状況は、まだ基礎工事の段階です。開設までもうしばらく時間はかかりますが、入居が決定された方が住みやすく、そして家庭的なホームになるように、職員一同準備を進めてまいります。

(吉見)



全国G・H・C等研修会千葉大会に参加して

去る7月8・9日、千葉・幕張にて、全国グループホーム・ケアホーム等研修会千葉大会が開催されました。

厚生労働省の稲葉好晴氏は、政府なりに障がい者の所得保障や医療ケア等について検討を行っており、近々に回答を出せるという見解を示されました。

シンポジウムでは、「地域で暮らせる仕組み作りのこれまでとこれから」というテーマの中で、障がい者が地域で暮らす事の現状や問題点、課題など多角的な議論がなされました。その中では、各事業所共通して人材確保、医療ケア、利用者の高齢化等が懸案事項として出されました。当然私た

ちもその例にもれません。加えて、身体介護度の高い方の地域生活を支えるという大きな役割を担おうとしているのですから、多くの課題に直面している状態です。

あいのわ支援センター谷中は、障がい者の地域生活全般に係るサービスを複合的に運営するという、いわば画期的な取り組みであります。居宅・ケアホーム・ショートステイ・地域サービスのそれぞれを統括して行う形態です。現場から新しいスタイルの構築を進め、第2・第3のケアホーム設置へ向け創意工夫を重ねていきたいと思っています。

全国的な研修会でも、行政の回答を得ても、まだ未発達な分野への取り組みだと、今回再認識させられたことは、新センターへの責任や、先駆的事业を行う自負を更に強く感じさせられたものでした。モデル事業として、あいのわ福祉会あげての実践が注目されることは必ずです。また、法人の培ってきた専門性をい

かんなく発揮すべき好機とも考えます。

(小山)



後援会だより

（平成 22 年 5 月～6 月）敬称略、順不同

◇特別会員（1口1万円）

土屋佐和子、青木弘治、石鍋一郎、小金井寛

足立成和信用金庫青井支店、平田伊三郎、神代和幸、峯岸茂隆

渡辺杏子、金成常子、（株）泰成工業所、（株）植竹製菓

（株）マルゼン、清水正雄、石鍋元章

（株）サンベルクス、（株）サンベルクス鈴木秀夫

（株）カナイ、大谷勝、青井3丁目中央自治会

神明福祉園父母の会、神明福祉作業所保護者会

◇団体会員・他（1口5千円）

青井4丁目第5自治会、青井4丁目住宅自治会、（株）ソーリン

今井澄子、田林恵子、平田敏光

◇個人会員（1口3千円）

平沢清寿（2口）、西村文雄、須賀賢一、三田昭夫、佐藤豊子

沢木綾子、田上弘治、赤羽敬司、西野勇雄、丸洋子、田中誠、吉澤國夫

羽子田はるみ、久保田博（2口）

◇寄付者

秋山啓司、川名ハルミ、藤極明美、綾瀬あかしあ園保護者会

★今年も多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付 有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。★

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成 22 年 5 月～6 月）

短期入所事業利用状況

延べ利用人数	76名	内児童	9名
延べ利用日数	218泊	内児童	35泊

編集後記

暑中お見舞い申しあげます。

7月に入り、一気に梅雨の蒸し暑さが増してきました。

暑さとともに、今年も園祭の季節がやってきました。まず6月13日竹の塚の杜祭が梅雨の晴れ間に恵まれ盛大に行われました。そして7月24日に綾瀬あかしあ園、そして9月5日足立あかしあ園、11月7日神明障がい福祉施設と続きます。皆さまどうぞお暑い中ですがお出かけいただけましたら幸いです。

2か月以上も続く東京の夏ですが、皆さんは夏対策を（消夏法）お持ちでしょうか。

夏の味覚（蜜豆・ところてん・枝豆・鰻等々）や花火・浴衣・うちわ・怪談などなど、夏を楽しむ暮らしの知恵がたくさんありますね。

どうぞ皆様も消夏法を駆使してお元気で過ごしてください。

― 菊花火柳花火と打ち重ね ― 原 亜季

■地球環境フェア2010の報告

6月19日・20日に足立区役所・中央公園を会場に開催されました。

あいのお福祉会後援会でも、模擬店を出店する形で参加しました。

当日、梅雨時でしたがまあまあのお天気に恵まれて、13時ごろには完売することが出来ました。お手伝いの父母の会役員・綾瀬の保護者の皆さん、仕入れや配達にご協力頂きました皆さん有難うございました。

この一日、「ゴミ」の考え方や地球環境を踏まえた暮らしの在り方も、自分の生活を振り返り反省した日になりました。（鈴島）

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで